

消防だより

令和8年(2026年)
7月末現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 6件
救急 : 830件
救助 : 16件

令和8年度全国統一防火標語 「火の確認 いい日を支える いい習慣」

9月9日は「救急の日」

9月9日の「救急の日」は、救急医療や救急業務に対する理解を深め、救急医療体制の充実を図ることを目的としています。

救急医療は、皆さまの正しい理解と協力によって支えられています。

「救急の日」をきっかけに、ご家庭での応急手当の知識を深めたり、かかりつけ医などを確認したりしておきましょう。

緊急時は迷わず救急車を！

「突然の激しい胸痛」「意識がない」「顔の片側が動かしにくい」など、明らかに緊急を要する場合は、ためらわずに119番通報をしてください。

救急車の適正利用

「とりあえず救急車を呼べば診察が早くなる」ということはありません。自家用車やタクシーで受診できる場合は、ご自身で医療機関を受診

してください。

救急車は限られた資源です。本来に救急車を必要とする方々への対応をするため、救急車の適正利用をお願いします。

救急搬送件数(上半期)

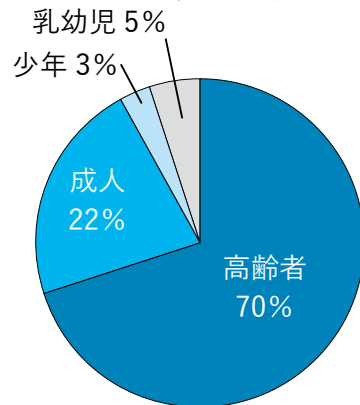
令和8年(2026年) 1月から6月の救急出動件数は671件、搬送人数は623人でした。

救急搬送人数を年齢別に比較すると、高齢者が435人と最も多く、全体の約70%を占めています。成人は140人、少年は19人、乳幼児は29人、新生児は0人でした。

※年齢別とは次のとおりです。

- ・高齢者／満65歳以上
- ・成人／満18歳以上／満65歳未満
- ・少年／満7歳以上／満18歳未満
- ・乳幼児／生後28日以上／満7歳未満
- ・新生児／生後28日未満

搬送人数 623 人



地震による火災をなくそう

地震発生時の火災を防ぐためには、事前の対策と地震直後の行動、そして復旧後に注意が必要です。大切な住まい、財産を火災から守るため、次のことに注意しましょう。

事前の対策

- ・家具の固定
- ・感震ブレーカーの設置
- ・消火器(住宅用)の準備

地震直後の行動

- ・停電中は電化製品の電源プラグをコンセントから抜く。
- ・避難するときはブレーカーを落とす。
- ・ガスの元栓を閉める。

避難から戻ったら

- ・電化製品や電源コードが損傷していないか、確認してからコンセントに挿す。

病院の案内

「救急車を利用するほどではないけど、受診できる病院がわからない」という方に、受診可能な医療機関を案内しています。

- 和歌山医療情報ネット
スマートフォンやパソコンなどで「わかやま医療情報ネット」と検索する。
- 救急医療情報センター ☎073-426-1199 (24時間対応)
- こども救急相談ダイヤル(平日19時～翌朝9時、土日祝9時～翌朝9時)
☎#8000(プッシュ回線・携帯電話) ☎073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

